

研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

帝王切開術周術期輸液量の母児の体重変化に及ぼす影響の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2020年4月1日～2022年9月28日までの期間に当院手術室で脊髄くも膜下麻酔による予定帝王切開術を受けられた成人及び帝王切開で出生した新生児を対象とします

2. 研究目的・方法

当院ではすべての帝王切開手術の前に麻酔科医が麻酔リスクを評価します。

患者様の体格、既往症、内服薬、手術の緊急性等から総合的に判断し、管理可能と判断した症例で脊髄くも膜下麻酔による管理を選択します。脊髄くも膜下麻酔は帝王切開術の麻酔として一般的ですが、問題点として麻酔の影響による母体低血圧があります。以前は急速大量輸液により低血圧を予防することが一般的でしたが、近年昇圧薬持続投与等により急速大量輸液せずに低血圧予防が可能になり、結果として術中輸液を制限することが可能になりました。分娩中の大量輸液が出生新生児の体重減少に影響することが報告されているため、帝王切開時の輸液量も出生新生児の体重に影響するかどうかを評価することを本研究の目的とします。対象となる症例で母児診療録や帝王切開麻酔記録から輸液量、母児体重、バイタル検査（血圧や酸素飽和度など）、検体検査（貧血の程度など）等の情報を調査し、帝王切開中の輸液制限による影響を評価します。

研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「結果通知書の承認日」より、実施医療機関の長の研究実施許可を得てから、2025年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録、麻酔記録から麻酔方法、使用薬剤、周術期輸液量、母児体重、バイタル検査（血圧や酸素飽和度など）検体検査（貧血の程度など）等を使用します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院 麻酔科 氏名：山村 彩

住所：224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 電話番号：045-949-7000

研究責任者：

山村 彩